

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校		
○保護者評価実施期間	2024年11月5日		2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に支援計画について、理解周知がされていること。	・契約時、モニタリング時はもちろんのこと、計画について丁寧に説明している事。	・来所時にも子どもの様子を聞き取り、皆で情報共有していく。
2	・子どもが安心感を持って通所してくること。	・事業所内全員と子どもの信頼関係を作っていく事、挨拶、何気ない言葉かけ、子どもの行動を認め褒める事。	・明るい対応、共通理解
3	・生活空間が清潔で整っている事。	・毎日の掃除、消毒、椅子・机の配置等、ドアを開けた時の印象に気を配っている。	・一人ひとりが意識して整えていること。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様同士の交流の場が少ない。	・それぞれの通所の時間でひとりだったり、支援を見学したりするので場ば設定がない。	・希望があれば日程調整していく。
2	・いろいろな園との交流、地域での他児との関わり。	・個別支援にあてる時間が1時間なので、関わるタイミングがない。	・地域の子どもたちを巻き込んだイベントの開催。
3	・生活空間としては、放課後デイサービス向き。(園のようなあたたかみはない)	・事業所が2階であること。 ・子どもの気持ちが落ち着くよう掲示物は最小限。	・改善は難しい。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子どもサポート教室「きらり」藤枝つじ校
------	---------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 33

回収数 33

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	5	0	0		法令順守したスペースは確保しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	0		法令で必要とされる配置数に加え、保育士・心理担当職員を配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	10	1	1	・教室に入る際の階段が少し急なので、雨の時は滑らないか心配なときがあります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	3	0	0	・夏エアコンがあまりきいていないようです。	・エアコン設置の検討をします。 ・毎朝清掃時、支援終了後に机、椅子、ドアノブ等の消毒をしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	4	0	1		・相談支援事業所と連携し、発達段階にあった支援計画を提供しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	3	0	4		・玄関、入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	3	0	1		・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しをし、1人1人にあった個別支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	4	0	2		・玄関入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	2		・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しをし、最新の支援計画に沿って支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3	0	5		・毎支援、1人1人にあったプログラムを作成し、小集団やイベント等を取り入れ、固定化されないよう工夫しております。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	20	7	0	6	・もう少し園との連携をわかりやすくしていただくと有難いです。	・ご要望があった場合にはすぐに連携をとる体制を整えております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0		・玄関入口に掲示してあります。いつでもご覧ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	0		・契約時、モニタリング時に支援計画書を示しながら、支援内容の説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	2	1	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	3	0	0		・毎支援、見学と十分なフィードバックを行っております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	3	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	6	0	8		・就学前相談会の開催、親子で参加するイベントなどを行っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	2	0	3		・事業所内相談や保護者勉強会を開催しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	2	0	2		・引き続き、振り返りを充実させて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3	2	5		・ブログ、LINE、Instagram等を用いて情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	2	0	1		・厳重に取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	0	2		・月に一度、防災訓練を行っております。11月には実際に利用者様と避難場所へ向かう訓練を行いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	3	0	5		・上記に加え、消防士による避難訓練や、水消火器を用いた火災訓練をおこなっております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3	0	7		・緊急連絡先カードを記入していただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	0	1	0	・少し不安な時にスツと先生の手を握るような様子があった。 ・人見知りだが、先生方にも慣れて来て、訴えを伝えたりボディタッチもできる様になった。	・今後も安心感をもって通所していただけるよう、努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	4	0	0	・今日は何やるかなー？と言っています。 ・とても楽しみにしています。	・お子さんが楽しく支援できるように工夫しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	3	0	1		・お子さんの発達に合った支援ができるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・法令順守したスペースは確保されています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・法令が必要とされる配置数に加え、保育士・心理指導担当職員を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・事業所が2階となっておりますが、室内はバリアフリーになっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日の清掃はもちろん、空気清浄機、除湿・加湿器を常に稼働しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・基本個別療育ですので、個別部屋になっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・朝ミーティングの際に支援の振り返り、注意点、改善点を全員に周知し、意見を出し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の方からいただいたアンケート結果は全職員が閲覧し、意見交換などしております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎朝のミーティング時に取り入れております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・現在検討中です。 ・第三者の選定方法や条件が不明。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・希望制となっておりますが、研修に参加しやすい雰囲気があります。 ・研修受講後は内容や資料などを全員に周知しております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・基本担当制となっておりますが、どの指導員もお子さんの特性、様子を共有してプログラムを立てております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・フィードバック時にお聞き取りなどをしております。またその内容も全指導員で共有しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・きらり共通のアセスメントシートに記入いただき、職員全員でモニタリング会議を実施し、共有しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別支援計画に沿って支援をおこなっております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・NCプログラム、コグトレなどを支援プログラムに取り入れております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		モニタリング後、最新商法に沿って個別支援計画を立てております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・特にチームは設けてはいませんが、活動プログラムで分からない点や疑問点があれば、相談し、打ち合わせ時に確認をしています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・個別支援のみに拘らず、季節のイベントや小集団療育も取り入れております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・年少児、年中児は月1回、年長児は月2回小集団療育をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、職員全員でミーティングを行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・毎支援後に打ち合わせはおこなわないが、支援についての疑問点や困りごとがあれば随時相談しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・支援予定の登録、その後記録の記入をする順番で、目に見える形で徹底しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しの判断をしております。 ・保護者様からご希望があれば上記期間内でも変更可能となっております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・基本的には児童発達管理責任者、担当指導員も出来る限り、参加するようにしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・現在該当するお子さんはいませんが、体制は整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・サービス担当者会議にて情報共有をしております。 ・園訪問や機関連携を積極的におこなっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・相談事業者や園の先生と連携を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		・こども発達支援センター主催の研修などの参加し、連携を図っております。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6		・藤枝市地域自立支援協議会に参加しております。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・積極的に連携を図り、必要であれば助言などを受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・現在検討中 ・他事業所同士の交流は年に2、3回程あります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・毎支援、基本的に見学に入って頂き、支援の様子を見ながら、随時共通理解を持っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・年に1回、ペアレント・トレーニングを開催しております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明をおこなっています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・半年に一度モニタリングを行い、事業所内相談の場を設け、助言・支援を行っております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・児発管が説明し同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・毎支援後、モニタリング時など、その都度困っている事を伺いし、助言・支援に繋げております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者勉強会などで話し合う機会を設けております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・随時、事業所内相談を行える体制をとっております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・LINEやブログ、インスタグラムなどで随時情報を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の取り扱いについて職員全員徹底して注意しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・特性に応じ、視覚的の分かりやすく示す、メールでの対応などをしております、	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・近隣の公民館にて人形劇を開催した際に、近隣住民へ声掛けを行いました。また、年に2回、同市同事業所と合同で地域に開かれたマルシェを行っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・ひと月に一回、防災訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・毎月行っている防災訓練後、事業所内点検を行い、防災リュックや備蓄品のチェックをしております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・面談児に確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・当事業所では食事提供は行っておりませんが、非常時を想定した緊急引渡しカードにアレルギー有無の記載をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画に沿って安全管理を行い、職員全員に周知しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・年に1度、保護者様も一緒に避難所まで歩く訓練をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・事例があった際は速やかに記載し、全体に回覧し周知をしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止委員会にて、年に1回以上の研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時に重要事項説明書としてご説明させていただき、個別支援計画に記載しております。	